

(株)ニチレイ 第8回植物相調査報告

2014年9月7日(日)に、黒沢研、塘研、木村研、難波研、廣瀬先生の連携研究「裏磐梯湖沼の生物相および周辺植生の総合調査」の一環として、加藤 沙織先輩(黒沢研究室 M1)と私の2名で(株)ニチレイ社有地の第8回植物相調査を実施しました。

午前中は、桧原湖探勝路沿いの尾根を中心に調査しました。尾根に登ると、加藤先輩が早速冬虫夏草を発見し、私は初めて見る冬虫夏草に驚きました。植物では、ナナカマドやツリバナといった植物の実が赤く熟れており、季節の移り変わりを感じられました。

次に、昼食を探勝路沿いで食べようとして西に向かったところ、探勝路は見つからずに迷ってしまい、いつの間にか桧原湖の湖畔にたどり着きました。そこで小さな池を発見し、ヒルムシロや、コカナダモが群生していました。とりあえず近くの岩場で昼食を食べました。昼食後は予定通り、桧原湖畔から3の池の南に向かい、池の西側を通過して2の池、探勝路周辺を調査しました。

最近の調査では雨に降られることが多く、この日も朝は雨が降っていました。ところが、調査を始める頃にはよく晴れ、久しぶりに絶好の調査日和となりました。また、晴れていた割には気温も低く、裏磐梯高原に一足早い秋の気配を感じながらの調査となりました。次回調査は、9/19(金)~9/20(土)を予定しています。(報告：黒沢研究室 4年遠藤優年)



ツルリンドウの花



桧原湖東岸の小さな沼



冬虫夏草



冬虫夏草をラムネの容器に入れる加藤先輩